

団体名	所在地	活動内容の概要
NPO法人 アグリコミュニティ千歳 理事長 藤田 和徳	千歳市	【大地震の復興に向けての原風景再興と新ビジネス創出】 地域の住民と営農者や教育・研究機関等が協働し、ハスカップ栽培での手摘み収穫の採算性と高齢化による負担軽減、また胆振東部地震からの震災復興のため、ハスカップの植栽と果実を使ったブランド品開発を行い、併せて地域発スマート農園の実用化に向けたシステム設計（遠隔監視、雑草駆除）等の取組みを行うことで、新たな農業展開とする新ビジネス創出につなげる取組みを行います。
知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウエイルート運営代表者会議 代表 遠藤 修一	根室市	【知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウエイ 地域の魅力度向上事業】 構成団体と地域が連携し、当ルートのフットパスや交通・鉄道遺構等と連携したモデルツアーを開催し、また観光消費額の向上のため、地域ロゴマークを活用した土産品の開発等を行い、当ルートの「認知度」と「質」の向上を図る取組みを行います。
標津漁師会 会長 浅野 将太	標津町	【標津漁師会】 地域の若手漁業者が中心となり、標津産魚介類を使った「浜ピザ」を活用し、「移動販売車」による町内外のイベント等での販売と発信を通じ、町の魚介類のPRと地域の活性化につなげる取組みを行います。
エコ・ネットワーク 代表 小川 巖	札幌市	【健康と観光の両面に寄与するさっぽろ周回バスの設定】 「さっぽろ周回フットパス（120～150km）」の構築を目指し、市民参加によるフットパスイベントの開催と、周回フットパスのマップを作成する。また周回フットパス啓発のため、先進地の関係者を招聘したフォーラムを開催し、健康志向の地元市民や観光客へ寄与する他、道内他地域での周回フットパス整備のモデルにつながる取組みとして行います。
NPO法人 美しい村・鶴居村観光協会 理事長 和田 正宏	鶴居村	【鶴居村ガストロミーツーリズム・プロジェクト】 新たな観光資源として、鶴居村の食と文化を楽しむ旅『ガストロミーツーリズム』の導入に向け、鶴居村の乳製品（チーズ、ヨーグルト）や鹿肉ジビエ料理などの食材を使った「メニュー開発」と「モニターツアー」を開催し、着地型観光の推進に向けた取組みを行います。
NPO法人 北見NPOサポートセンター 理事長 谷井 貞夫	北見市	【製炭炉での未利用資源エネルギー化循環モデルづくり】 地域の障がい者支援団体や企業等と協働し、美幌町に設置される製炭炉（多様な廃棄物の炭化が可能）を活用した一次産業等の残渣廃棄物の有効利用を目指す。このため「資源調査」と「用途可能性の調査」を行い、オホーツク地域での障がい者就労と新たな雇用創出につながる地域循環型社会に向けた取組みを行います。